

# 白熱トライアスロン大会

## 愛南町の熱い1日



愛南町 いやしの郷  
トライアスロン大会

6月6日(土)、  
西海地域の船越漁  
港周辺や旧西海有  
料道路などを舞台  
に「第4回愛南町  
いやしの郷トライ  
アスロン大会」が  
開催され、25の都  
府県から過去最多  
の332人が参加  
してアップダウン  
の激しい難コース  
に挑みました。



第4回大会は、800人を超えるボラ  
ンティアスタッフ、沿道での地元住民の  
声援が出場選手を支え、大いに盛り上  
りました。  
出場選手から届いた感謝の言葉と共  
に、選手と応援やスタッフなど地元住民  
が一体となり、愛南町が熱く燃えた1日  
を振り返ります。



# 選手を陰で支えた地元住民の奮闘

大会前、主会場の船越漁港周辺では、



①

早朝から船越地区の皆さんをはじめとする約100名が清掃活動を行いました(写真①)。会場清掃や大漁旗の飾りつけ(写真②)などは、大会実行委員会からの依頼ではなく地区の自主的な取組だそうです。橋岡濟隆船越区長は、「選手の皆さんを温かく迎え、気持ちよくレースに臨んでもらおうという地区の総意です」と作業後に汗を拭いながら話してくれました。

また、久家地区の和田眞代さんは、「少しでも選手の皆さんの力になれば」と、今年も選手一人一人の名前を書いた「応援旗」を作成しました(写真③)。



②



③



No.195

## 舛形勲さん(香川県)

第1回大会から参加させていただいている愛南大会も、はや4回目になりました。地元(香川)の学生さんたちの元気な挨拶に迎えられ、今年も帰ってきたなあ」と故郷に戻ってきた気分だと感じてくれる素敵な大会。年に一度の出会いで毎年どんとん人の輪が広がるのを感じます。地元の皆さんが、これだけ頑張っ準備してくださっている大会だからこそ自分も選手として頑張れる！また来年も愛南の皆さんと一緒に過ごせる一日を楽しみに一年間トレーニングに励みます。



No.006

## 中田満子さん(愛南町)

相変わらずなタフでしんどいコースではありますが、今年も昨年以上の多くのボランティアの方々のご協力、応援に後押しされ、無事に完走することができました。大会前の練習会のおかげで地元の方々にはお世話になり、小学生から頑張ってくださいと声援をいただいたり、シャワーもどうぞとお声をかけていただきました。ありがとうございました！



No.526

## 住田深志さん(高知県)

第1回大会から参加させていただいています。感心することは、毎年熱気あふれる大会であること。さらに年々グレードアップされ、レベルが上がっていることです。選手は練習するのでレベルアップは当然ですが、応援してくれる子どもたちや大会をサポートしていただいている地元の方々を含めたボランティアの気配りには頭が下がります。また、来降も参加し続けますのでよろしくお願いします。ありがとうございました。



おめでとうと伝えたい・・・



船越小学校の児童は、ゴールした選手に贈呈する「完走賞」を心を込めて作りました。「完走賞」は、愛南町ご当地キャラクター「なーしくん」をモチーフにしたメダル型のもので、子どもたちは「完走おめでとうございませう」と選手一人一人に完走賞を贈りました。



No.517

三上 強さん（広島県）

青く深い海とたくさんさんのボランティアの方たちの汗と笑顔、沿道の声援に包まれて走り切った51.5kmは素晴らしい思い出となりました。  
地形を活かした高低差のある難コースでしたが、応援してくれたチビっ子たち、おじちゃん、おばちゃんの声が後押ししてくれて、きつても楽しく幸せな時間でした。ゴールの瞬間は、「このゲートをクリックと終わってしまおう」と、ゴールするのがもったいなく、1周余分に走りたかった気分です。来年も必ず戻ってきますよ！エイジ優勝をめざしてね！



No.017

山岡 愛さん（愛南町）

ゴールするまで温かい声援に励まされたことがすごくうれしかったです。1番苦しかったラジコンコース。福浦小学校の風の子太鼓のリズムで足が自然と前へ前へ進みました。中学生のナンバークールや山岡さんクールで諦めかけた心に再びパワーをもらい完走することができました。船越小学校児童手作りの完走賞をもらって疲れがいつの間



No.343

高田 一治さん（広島県）

昨年に続いて2度目の出場でした。小さな子どもや中・高生、若者からお年寄りまで参加してのボランティアや応援にはとても感動するし、また、感心させられます。地域一体となったパワーを感じますし、このような風土の愛南町なら子どもたちも素直に育ちそうですね。参加させてもらう私たちは、レースで頑張る姿で応援していきたいと思っています。本当にありがとうございました。



No.003

小原千絵さん（鳥取県）

初めて「愛南町いやしの郷トライアスロン大会」に参加しました。コースはバイク・ラン共に起伏が楽しめた反面ハードコースに苦しみましたが、笑顔でゴールすることができました。ランコースには地元の方々や、たくさん子どもたちが大きな声で応援してくださいパワーをもらえました。終わってから地元ボランティアさんのお家でシャワーをお借りし、お茶を飲みお菓子を食べながらお話しすることがとてもうれしかったです。来年もぜひ愛南町へ来たい！ありがとうございました。

「愛南町いやしの郷トライ  
アスロン大会」のコースは、  
高低差の激しさが国内屈指  
ともいわれる難コース。  
激走する選手の疲れた体  
に、「ガンバレ！」の声が  
響きます。



ガンバレ！



No.016

二星智恵子さん（兵庫県）

今回初めて愛南町を訪れました。大会当日は、快晴でからっとしていて最高の天気でした。トライアスロン初心者なので完走を目標にしましたが、レースが始まると沿道のいたるところで子どもたちからお年寄りまで温かく応援していただき、これまでで最高の記録が出せ、最高の思い出を残すことができました。

町の方々も最高な愛南町、来年も必ず来たい！と思いました。ありがとうございました。



心のこもった大会  
会場は心からの笑顔であふれました

